

九州大学新聞

<https://hdl.handle.net/2324/1520790>

出版情報：九州大学新聞. 607, 1970-03-25. 九州大学新聞部
バージョン：
権利関係：



『国家の死滅』 柴田高好・著

島本伝三郎

書評

『国家の死滅』柴田高好著、岩波書店、1969年刊、256頁、2,000円。本書は、著者の『国家の死滅』という著作の要約である。著者は、国家の死滅を論じている。国家の死滅とは、国家の存続が不可能になる状態を指す。著者は、国家の死滅の原因を、国家の内部の腐敗と外部の侵略の両方にあると見做している。国家の死滅を防ぐためには、国家の内部を改革し、国家の力を強化する必要があると主張している。本書は、国家の死滅という重要な問題を論じている。著者の主張は、国家の存続と発展のために重要な示唆を与えている。本書は、国家の死滅を論じている。国家の死滅とは、国家の存続が不可能になる状態を指す。著者は、国家の死滅の原因を、国家の内部の腐敗と外部の侵略の両方にあると見做している。国家の死滅を防ぐためには、国家の内部を改革し、国家の力を強化する必要があると主張している。本書は、国家の死滅という重要な問題を論じている。著者の主張は、国家の存続と発展のために重要な示唆を与えている。

宇野三段階論の政治学的対応

使用価値と人間本質を短絡する柴田

宇野浩二の『三段階論』(岩波書店、1968年刊)は、政治学上の重要な著作である。著者は、国家の死滅を論じている。国家の死滅とは、国家の存続が不可能になる状態を指す。著者は、国家の死滅の原因を、国家の内部の腐敗と外部の侵略の両方にあると見做している。国家の死滅を防ぐためには、国家の内部を改革し、国家の力を強化する必要があると主張している。本書は、国家の死滅という重要な問題を論じている。著者の主張は、国家の存続と発展のために重要な示唆を与えている。本書は、国家の死滅を論じている。国家の死滅とは、国家の存続が不可能になる状態を指す。著者は、国家の死滅の原因を、国家の内部の腐敗と外部の侵略の両方にあると見做している。国家の死滅を防ぐためには、国家の内部を改革し、国家の力を強化する必要があると主張している。本書は、国家の死滅という重要な問題を論じている。著者の主張は、国家の存続と発展のために重要な示唆を与えている。

物神論

荒唐無稽をめくって 門倉弘

物神論とは、物に神格を授け、それによって人間の行動を規定しようとする思想体系を指す。本書は、物神論の歴史と理論を論じている。著者は、物神論がどのようにして発展してきたかを説明している。また、物神論が人間の行動にどのような影響を与えているかを論じている。本書は、物神論という重要な問題を論じている。著者の主張は、物神論の批判を通じて、人間の自由と個性の重要性を強調している。本書は、物神論を論じている。物神論とは、物に神格を授け、それによって人間の行動を規定しようとする思想体系を指す。本書は、物神論の歴史と理論を論じている。著者は、物神論がどのようにして発展してきたかを説明している。また、物神論が人間の行動にどのような影響を与えているかを論じている。本書は、物神論という重要な問題を論じている。著者の主張は、物神論の批判を通じて、人間の自由と個性の重要性を強調している。

広告のため非表示

広告のため非表示

広告のため非表示



美術評 坂本繁二郎展「自由考」

坂本繁二郎

「自由考」の題名は、作者の自由な表現を指している。この展覧会は、作者の多岐にわたる表現手法を、一つのまとまりのある形で示している。作者の表現は、従来の美術の枠組みを越え、新しい表現の領域を開拓している。この展覧会を通じて、作者の芸術的探求の軌跡が、観る者に伝わることを期待する。

坂本繁二郎の作品は、その多岐にわたる表現手法によって、観る者に強い印象を与える。彼の作品は、単なる技術的な表現にとどまらず、深い思想的背景を持つ。この展覧会では、作者の表現の自由さが、作品の生命力を生み出していることがよくわかる。作者の表現は、時代を超えて受け継がれるべきものであると信じている。

坂本繁二郎の作品は、その多岐にわたる表現手法によって、観る者に強い印象を与える。彼の作品は、単なる技術的な表現にとどまらず、深い思想的背景を持つ。この展覧会では、作者の表現の自由さが、作品の生命力を生み出していることがよくわかる。作者の表現は、時代を超えて受け継がれるべきものであると信じている。

坂本繁二郎の作品は、その多岐にわたる表現手法によって、観る者に強い印象を与える。彼の作品は、単なる技術的な表現にとどまらず、深い思想的背景を持つ。この展覧会では、作者の表現の自由さが、作品の生命力を生み出していることがよくわかる。作者の表現は、時代を超えて受け継がれるべきものであると信じている。

総括医学部闘争の現在の視点 (下) 医学部スト実行委

医学部闘争の現状を、現在の視点から総括する。医学部学生は、教育の質の向上と、社会への貢献を求め、ストライキを実行した。これは、単なる学生運動ではなく、社会正義の闘争である。医学部は、社会の健康を守る重要な役割を担っている。そのため、教育の質を確保することは、社会のためである。ストライキを通じて、教育の改善を求め、社会に貢献する。医学部学生は、社会正義の闘争を、断固として進めようとする。

広告のため非表示

